

# 品質

## ● 品質に対する方針

当社は、品質方針を策定し、お客様の期待に応えられる製品を継続的に創出していきます。

### 品質方針

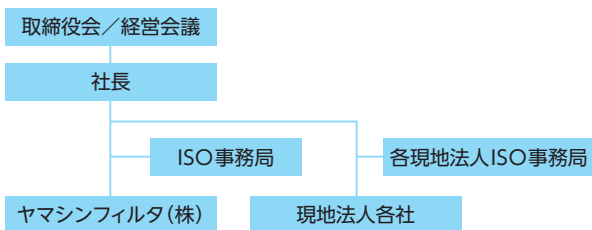
<https://www.yamashin-filter.co.jp/ja/sustainability/social/main/01/teaserItems1/01/linkList/0/link/QualityPolicy.pdf>

## ● 品質管理の体制

当社は、品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001：2015認証(カバー率：82%)を取得し、ISO事務局のもとで、各種規程に基づいた品質管理の実行によりPDCAを回しています。

品質向上のために工程不良率の数値目標を定めてモニタリングし、管理しています。毎月の不良発生率は、佐賀事業所、セブ工場、ベトナム工場それぞれの生産拠点の状況を品質保証本部が把握し、目標達成状況に応じた是正処置・予防処置を講じています。また、毎月の経営会議では不良発生率や重大な不良案件について報告し、その原因・対策等の適切性を審議しています。

### ● 品質管理体制図



## ● 品質管理に関する取り組み

### ■ 不具合の是正・予防対応

品質を保証するには、お客様先での将来的な品質の寿命を考慮した上で、使用する材料・部品や製品の寿命を設定し、開発・設計を進め、加工と組み立てを行う必要があります。品質管理にあたり、不具合を定量的・定性的に分析する上でパレート図等さまざまなツールを活用し、不具合の原因を早期に明らかにできるようにしています。また、原則として、お客様からのお問合せや不具合品を受領した当日中に、調査を開始する仕組みとしています。

### ■ 改善活動

生産拠点では、「ムリ」「ムダ」「ムラ」の3点に着目した、「『3ム』メモ」による改善活動を実施。佐賀工場では、安全、品質、工程の改善に関して、全ての社員が月1件以上の提案を行っています。DX推進の一環で生産ラインにロボットを導入し、2022年4月に操業開始したベトナム工場では現地指導だけでなくリモートで指導を行うなど、品質管理を徹底しています。

常に変化のある生産現場では、改善活動に終わりはありません。品質向上を通じ、顧客満足を得られるよう、小さなことでも厭わずに改善を続けています。

### ■ 品質向上に向けた人材育成

作業員全員に対して単なる作業内容のOJTではなく、作業の意味、機器の原理や技術など、本質から業務を捉える教育を行っています。改善については提案するだけでなく、完結するまで管理させることで、問題を解決できる人材へと育成しています。また、従業員の成長を促すためだけでなく、急に人員が欠けてしまった場合でも生産や品質、納期遅れなどお客様にご迷惑をおかけしないよう、多能工化(さまざまな作業ができる人材への育成)を推進しています。

### ■ ICTを活用した高度な標準化

作業員は、電子化してサーバーに蓄積した作業標準書を、生産ラインに設置したタブレット端末で見ることができます。これにより、作業員によるムラを大幅に軽減し、人が変わることによる作業効率の低下の防止等、効率化と安定化を図れるようになりました。また、組立方法について、これまでの紙ベースから動画に置き換えて海外工場と共有することで、組立方法の見える化を実現しています。



工程内の端末にて作業標準書を確認する作業員

